



## 学生服を再利用～制服リユースショップ KAKAYA～

寄付でいただいた学生服を再生し、買い求めやすい価格で必要な家庭に提供する制服リユースショップ「KAKAYA」。NPO 法人はぐくみが運営しています。年度替わりのこの時期、特に需要が高まるなか、代表の木野歩美さんにお話をうかがいました。

2019年12月から  
取り組みをスタート

制服は、何かと物入りの進学時に購入するほか、成長期の子どもの着替えが必要になることもあります。さらに洗い替えを用意するには高価と、経済的な負担になることが少なくありません。これらの問題を解決するため、木野さんは学校や企業に協力を呼びかけて、和歌山市内の高校を中心に制服や体操服などの回収を始めました。

その後、NPO 法人はぐくみを設立、子育て家庭の支援と、技術のある高齢者には名前の刺しゅうを外す作業などで社会参加してもらう取り組みとして KAKAYA の運営を始めました。制服販売価格は通常の3分の1程度となっており、非常にリーズナブルです。

必要な人に届けるために  
これまでの制服の入手方法は、「新規購入」または「親類や知人などからの譲渡」が基本でしたが、第3の選択



KAKAYA 外観



代表の木野歩美さん

「リユース」が全国的にも広がりつつあります。ですが、木野さんはリユース制服を利用してもらうことの心理的なハードルをまだまだ感じているそうです。国連SDGs(持



リユース制服の見本



在庫の一部、サイズも様々です

グ、販売できる状態にしておき、試着してもらい気に入ってもらえれば購入という方式で販売。制服は新規購入の場合、採寸して注文する方式を取っているため実際に着用するのは納品後であることがほとんどです。試着し、実際に状態を確認

「継続可能な開発目標」の観点からものを大事にしたい、リユース制服を利用することで浮いたお金を他の学用品に回したい、など、利用者の考えは様々です。もっと認知を高めて、経済的困窮を抱える家庭にとつての使いやすさにつながるよう啓発も続けていきたいと考えています。

### 利用について

寄付してもらった制服は状態を確認し、選別します。リユース可能なと判断したものをボタン・ホックの付け替えなど含めて全体的に補修やクリーニング、販売できる

### まだまだこれから

今まさに卒業と進学を迎えるこの時期、不要になった制服を提供してもらうために学校、企業や施設を巡り、協力を呼びかけて奔走しているそうです。和歌山市の本町公園にて毎月第2日曜日に開催されるマルシェイベント「とことん市」、その企画の中で来月3月10日に開催されるまちの循環のしくみを一緒に考える体験型マーケット「わかやま循環計画 DAY」にも参加されるそうです。学生服の回収も行います。卒業後に不要になる、家の中にもまわったままの制服をお持ちの方はぜひお持ちください。

(阪口晃彦)



制服リユースショップ KAKAYA  
〒640-8314 和歌山市神前 529-5  
TEL 080-6114-9578 (予約制)  
URL <http://kakaya2020.com/>  
予約時にはお探しの学校名、制服の種類、サイズ、身長、ウエストサイズ等をお知らせください。

### わかやま SDGs パートナースhip 基金

## 2023 年度 助成先&ご寄附を募集します

みんはの力で SDGs 実現を！

わかやま NPO センターが 2021 年度から運営している「わかやま SDGs パートナースhip 基金」では、県民のみなさまからの寄付を原資に、国連 SDGs (持続可能な開発のための目標) の達成に向けて取り組みをすすめる和歌山県内の NPO・ボランティア団体を応援します。

**今年度は SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」・ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」に向けた活動を支援します。**助成を希望される団体を募集します。また、本基金へのご寄附も継続して募集します。多くのご参加をお待ちしています。

#### 対象団体

以下の条件をすべて満たす団体が対象です。

- 和歌山県内に拠点を置く NPO・ボランティア団体 (法人格の有無は問いません) 一般社団法人の場合は非営利徹底型に限ります。
- 応募時点で活動開始から概ね 2 年以上経過しており、一定の活動実績を有していること

#### 対象となる活動

SDGs ゴール 14 または 15 に関連し、和歌山県内で「自然環境下における生きものの保全」につながる活動とします。

#### 助成金額・団体

1 団体 3 万円を 5～6 団体に助成します。他の助成金事業等との重複も構いません (もう一方の事業が認めている場合に限りません)。なお、集まった寄附金額に応じて団体数は異なります。応募内容によってはヒアリングをさせていただくことがあります。

#### 助成金の使途

市民のみなさまからのご寄附が助成金の原資であることから、活動に直接必要な費用に充当されることを原則とします。内訳は問いません。

#### 助成申請に必要なもの

- 所定の申請書類 (ウェブサイトから Word 形式でダウンロードできます)
- 添付書類
  - NPO 法人の場合…原則としてありませんが、定款と直近事業年度の事業報告書・活動計算書が内閣府 NPO 法人ポータルサイトに掲載されていない場合は添付ください
  - 任意団体の場合…会則もしくは規約と直近事業年度の事業報告書・決算書
  - 一般社団法人の場合…定款と直近事業年度の事業報告書・決算書

#### 申請方法

わかやま NPO センターまで FAX もしくは電子メールのいずれかでお送りください (郵送不可)。電子メールでのご応募の場合は、受領確認メールをお送りします。3 月 7 日 17 時を過ぎても受領確認メールがない場合は、迷惑メール等に誤判定されている可能性がありますので、電話でお問い合わせください。

#### 締め切り

**2024 年 3 月 5 日 (火) 17 時 (必着)**

くわしくはウェブサイトをご覧ください。引き続き、当基金へのご寄附も募集しております。ご寄附が増えることと支援ができる団体数も増えます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

<https://wnc.jp/works/sdgsfund/>

【運営】 認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 TEL 073-424-2223 info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

### 和歌山市 NPO・ボランティア 推進協議会だより

#### まちなか百姓養成塾

|     |  |
|-----|--|
| 日程  | 3月19日(火)<br>18:30～20:00                |
| 場所  | 和歌山市地域フロンティアセンター (フォルテワジマ 6 階)         |
| 内容  | 有機野菜栽培農家から春野菜の栽培について学びます               |
| 定員  | 20 人 (申し込み必要、定員に余裕があれば当日参加可)           |
| 参加費 | 500 円 (資料代)                            |
| 主催  | わかやまイネ！プロ<br>ジェクト 090-1156-6799 (池田さん) |

このコーナーでは、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会に所属している NPO・ボランティア団体から提供されたイベント等の情報を不定期にお届けしています。